



いすゞの車が販売されている国や地域は150カ国に及んでおり、様々な環境の中で使われ、そこに暮らす人々の生活を支えています。そして、使いやすさや信頼耐久性から、多くのお客様からの高い評価を頂いています。そこには、過去から現在に至るまで、数多くの技術革新とチャレンジの歴史がありました。

「運ぶを支え、暮らしを支える」いすゞの製品とものづくりの想い。

企画展示では、いすゞのロングセラーを支えてきた数々の“挑戦”の軌跡をご紹介します。

## ベレット1600GTRレース車両（1970年）

70年式ベレット1600GTRのレース車両。

前年の1969年、プロトタイプの新ベレット1600GTXは、鈴鹿12時間自動車レースで総合優勝を果たしました。実車展示と共に、当時のレースの参戦の様子をデジタルパネルで紹介します。



## 日本初の本格的FFトラック「エルフマイパック」

日本初のFF（前輪駆動）方式を採用したトラック。

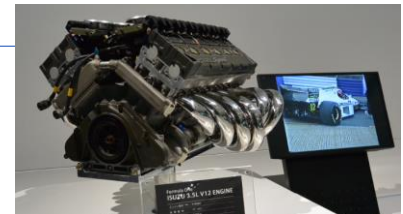
床面地上高450mmという超低床荷台が架装できる画期的なモデルです。「荷物の積み降ろしを少しでも楽にできないか？」という思いから生まれた「マイパック」の低床コンセプトは、その後のフラットローとして受け継がれ、小型トラックの礎となりました。



## V型12気筒レーシングエンジン

F1レギュレーションに則ったV型12気筒レーシングエンジン。

1990年ベンチテストを終えた後、このエンジンはロータスに搭載され、1991年イギリスでテスト走行が行われました。実機展示に加え当時のテスト走行シーンも紹介します。



## 高出力、低燃費、低騒音を実現した4J13ディーゼルエンジン

いすゞのピックアップトラック「D-MAX」に搭載された4J13ディーゼルエンジン。250MPaの高噴射圧、電制VGSターボ採用等により高出力、低燃費、低騒音を実現しました。ワスプから始まるいすゞピックアップトラックの系譜もご紹介します。

